

回収とリサイクル

商品の廃棄・リサイクルに至るまでを責任と考え、
個別商品毎の回収・リサイクルルートを確立します。

2004年度の目標と実績

カシオでは、個別品目ごとに回収・リサイクルルートを確立することで、カシオ商品のリサイクル推進に努めています。

また、これらの回収実績や回収方法については、カシオHPによる告知などを通じて、周知・徹底を図っています。

事業系情報処理機器の回収

資源有効利用促進法(改正リサイクル法)で定められている再資源化目標率を上回ることを目標として、法人を対象に情報通信機器の回収・リサイクルを2002年2月より開始。ページプリンタについては、下取りキャンペーンを実施するなど、リサイクル率の向上に努めています。

家庭系パソコンの回収

資源有効利用促進法(改正リサイクル法)で定められた目標再資源化率を上回ることを目標に、一般家庭から排出される使用済みパソコン、モニターの回収・リサイクルに取り組んでいます。

事業系情報処理機器の回収(2004年度)

		本体	モニター	プリンター	ECR 他
		PC/OC	CRT/LCD	ドット/ページ/他	ECR/POS/UPS 他
再資源化	回収量	11.72t	7.44t	27.27t	4.06t
	再資源化量	9.94t	5.77t	23.66t	3.51t
	再資源化率	84.8%	77.6%	86.7%	86.4%
	目標再資源化率	50%	55%	—	—

家庭用パソコンの回収(2004年度)

		デスクトップPC	ノートPC	CRT/LCD
再資源化	回収量	189kg	13kg	119kg
	再資源化量	138kg	5kg	98kg
	再資源化率	72.9%	36.2%	82.7%
	目標再資源化率	50%	20%	55%

小形二次電池の回収

カシオは2001年9月に有限責任中間法人JBRC(当時は小形二次電池再資源化推進センター)に加盟して以来、小形二次電池(充電式電池)の回収・リサイクルに協力しています。

ドラム・トナーの回収

カシオは2000年より、使用済みとなったドラム・トナーについて、依託運送会社を活用して顧客から回収しています。

回収したドラム・トナーは、カシオ電子工業のエコセンターにおいて、再利用可能な部品は取り出して再利用、再利用できないものは材料へと還元しています。

現在リサイクル率^{※1}は100%を達成しており、今後もその継続をめざして活動を続けます。

ネームランドテープの回収

カシオでは、企業および一般家庭で幅広く使用されているネームランドカートリッジ・DISKタイトルプリンタインクリボンについて、使用済み製品を再資源化するために回収・リサイクルを展開しています。

小形二次電池の回収実績

	2003年度	2004年度
ニッケル水素電池	436kg	289kg
ニッケル水素電池	20kg	654kg
リチウムイオン電池	84kg	748kg
小形シール鉛蓄電池	0kg	0kg

ドラムトナーカートリッジ回収実績

	2003年度	2004年度
処理量	235.0t	717.0t
リユース	42t	83t
マテリアルリサイクル	193t	634t
リサイクル率	100%	100%

ネームランドテープの回収実績

	2003年度	2004年度
回収数量	57,200個	77,430個
重量	1.82t	2.46t

海外における回収とリサイクルの状況

カシオインク

カリフォルニア州では、2003年9月から「カリフォルニア州電子廃棄物条例(SB20)」が施行されました。これは、リサイクルあるいは廃棄を正しく行うために、該当する電子製品を販売する際には、小売業者が消費者からリサイクル料金を徴収するもので、2004年9月に「SB50」に改正され、対象品目が拡大されました。

カシオインクでは、消費者に正しい廃棄方法を通知し、カリフォルニア州に対しては年次報告書を提出するための準備を進めています。

また、製品に含まれている有害物質量の調査をグリーンデータベースの構築状況と並行して行っています。

カシオヨーロッパ

1991年に制定(最終改訂:1998年)された「ドイツ国内で販売されている商品の容器包装材に関する法律(ドイツ容器包装法)」では、包装材を対象に、事業者包装廃棄物の回収と再資源化を義務づけています。

カシオヨーロッパでは、DSD社^{※2}に毎月の出荷実績報告書とともに、実績に応じたライセンス使用量を支払い、同社の商標である「グリュネ・フント(緑のマーク)」を表示しています。また、オーストリアでも、出荷実績は少ないものの、ドイツと同様にライセンス使用料をARA^{※3}に支払っています。2004年度のライセンス使用料は、ドイツで62,000ユーロ、オーストリアで3,982.6ユーロとなりました。

※1リサイクル率=(再利用部品取出重量+材料還元重量)÷リサイクル処理投入重量

※2DSD社:Duales System Deutschland社の略称

※3ARA:Alstoff Recycling Austriaの略称